

平成29年度

清水町議会報告会と町民との意見交換会

# 報告書



平成29年10月

清水町議会

## 1 開催状況

地区	日時	会場	参加者	出席議員	出席事務局
清水地区	平成29年5月23日(火) 19:00~20:26	文化センター 2階会議室	26人	担当8人 傍聴5人	3人
御影地区	平成29年5月24日(水) 19:00~21:05	御影公民館 2階講義室	15人	担当7人 傍聴6人	3人
計			41人		

## 2 質疑、意見・提言等、アンケートの状況

地区	質疑、意見・提言等件数					アンケート回収 ＜意見・要望件数＞
	内 訳					
	質 疑	テーマ①	テーマ②	その他		
清水地区	13件	0件	5件	5件	3件	22枚＜4件＞
御影地区	24件	6件	12件	4件	2件	10枚＜7件＞
計	37件	6件	17件	9件	5件	32枚＜11件＞

※意見・提言等の聴取は、テーマ①「災害時の対応と復旧等について」、テーマ②「高齢者の運転免許証返納と交通対策について」、テーマ以外のその他について意見交換を実施した。

## 3 質疑、意見・提言等、アンケートの意見・要望の処理方法（類似した内容は一項目として処理）

会場で回答済み とした項目	委員会で調査、検討が必要とした項目			回答でき ない内容	未回答
	議会運営	総務産業	厚生文教		
9項目 【4のとおり】	9項目 【5(1)のとおり】	17項目 【5(2)のとおり】	2項目 【5(3)のとおり】	0項目	4項目

## 4 会場で回答済みとした項目

No.	質疑、意見・提言等	回 答
1	災害時の議員の対応はどうだったのか。	9月2日に全員協議会を開催し、議員で被害現場を見て来た。議員一人ひとりの意見を聞いたから混乱するので、情報を町と共有し、議員個々の対応は控えるようにした。
2	今年の予算を見ると、数百万円規模の今年やらなくてもいい事業があるのではないかと。	町長選挙のため骨格予算編成だが、議会できちんと審査して決めている。
3	清水赤十字病院補助金はいくらだったのか。	5,300万円の追加補助要望だったが、地域包括ケア病床が順調で2,000万円減額し、3,300万円（計8,000万円補助）となった。

4	近年、清水赤十字病院の補助が多すぎる、一般企業になぜそんなに運営助成をするのか。町はゆとりがあるのか、そうであれば、町税や水道料金等を減額すべきで、清水赤十字病院に対して生ぬるい。	病院側も赤字克服の努力をしているとの説明を受け、運営のあり方等については、種々審議して決めたものである。今後の改善方法等も伺っており、ご理解願いたい。
5	清水赤十字病院の補助について問題がある。本町の財政にとって、今後負担になる。努力している姿勢が見えない、清水赤十字病院は努力すべきである。	地域包括ケアシステムを通して種々努力しており、収益も改善してきている。人口減少に向かっていく中で、他町に向けても財政支援の努力をし、病院の名称を変更することも検討するようである。
6	道道の除雪を町が行うことはないのか。	町が行うことはない。
7	今回の災害は大きな問題。今後どのように対応していくべきか、みんなで知恵を出し合い進めていくべきだが、議会としてこのテーマを出した理由は。	今後の検討について、意見を参考にしたいためである。
8	議会として災害時の対応について、どのように進めてきたのか。	9月2日に被災現地を調査した。それぞれの地域から議員が出ているため、優先順位に支障が出る懸念もあったが、議会としてではなく、議員個人が人としてできることをした。
9	運転免許証自主返納のテーマを掲げた理由は。	年々高齢化率は上昇している。意見を伺い、条件づくりをどうするかを大きな課題と考えている。

## 5 委員会で調査、検討が必要とした項目

### (1) 議会に対するもの（議会運営委員会で調査、検討）

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	災害時は議員個々に動くのではなく、マニュアル化したもので対応すべきであり、全員でどうするかを条例に明記しておくことも必要。議員が得た情報を的確に伝えるべきである。	災害時は執行側と情報を共有し、議会機能を維持しなければならないが、議員は立場を踏まえた活動を行う必要があり、議会の体制を含めた災害時行動マニュアル等の作成を検討する。
2	要望などには時間延長してでも納得できる答えを出してほしい。	意見・提言等の聴取は、意見交換が途中で終了とならないように時間を延長することは可能であるが、内容によっては即答できないものもある。
3	意見を述べていた方たちは、この意見交換会でなくても語れる人で、アンケートの中に「テーマについて言いたいことは？」などを入れてもよいのではないかと。	アンケート用紙にテーマについての意見等を記入できるように検討する。

4	<p>・議会には多くの町民より要望があると思うが、意見交換のテーマについては、多くの町民の意見を求めるテーマを選んでほしい。</p> <p>・テーマを設定しないほうがいい。</p>	<p>参加者からの要望もあってテーマを設定しての意見交換を初めて実施したが、肯定的な意見が多いため、今後は多くの町民からテーマの要望を聴取した上でテーマを決定していきたい。</p>
5	<p>一部の議員が後ろでしゃべっている。邪魔になって議論が聞こえない時があり、全員前にいたほうがいい。</p>	<p>時間の制約がある中、意見交換しやすいように議員は2班編成で対応しており、担当以外の議員は会場の後方で静かに傍聴するようにする。</p>
6	<p>芽室町の議員が中心となり、昨年の災害をレポートにした本が出された。清水のほうを書き残さなければならないことが多いため、前向きにポジティブに活動していただきたい。</p>	<p>町において「平成28年台風10号大雨災害対応報告書」が作成されるが、更に書き残すべき事項があれば、反映されるように働きかけをしていきたい。</p>
7	<p>・行政をひとくくりに、つい思ってしまうが、これは道、これは町、これは国と縦割りにして逃げることをさせず、横断型で対応しないと、いつまでも何事も解決しない。責任転嫁を互いにして、住民のプラスにならないことを議会としても働きかけるべきで、行政も議会も構成員は「住民」であり、公人として、私人として、住民目線や弱者の視点でものを考えないと町はよくなる。</p> <p>・政策についても「PDCA」サイクルと、専門の知識を持った住民も含めた「知」と、「住民のためになる」ことをしなければ何も変わらない。常に「パブリックコメント」を受け付けるような「目安箱」的なものは必要で、様々な年代、生活状況の方が主体にならないと「まちづくり」はできない。このままだと正直明るい未来は望めなく、人口流出や産業衰退しか道はありません。それを肝に銘じてもらわないと、議会も行政も談合している、都合のよい形で進めているという誤解を招いてしまう。“モノ”を整えるだけの政策ではなくて、メリットのある政策ができる戦略集団で行政も議会もあるべきである。</p>	<p>議会報告会と町民との意見交換会の開催など、住民目線や弱者の視点に立った対応に努めているが、全ての町民の希望を汲み取る仕組みにはなっていないため、少しでも多くの町民の声を聴取できるようにあらゆる方法を検討し、議決機関・監視機関としての議会の役割を果たしていきたい。</p>
8	<p>こういう場にしても、議会の構成員の高年齢化がとても気になる。“行動”できる世代を育てないと地域は永続していかなくなる。</p>	<p>町村議会における議員のなり手不足が問題になっており、本町においては議会活性化特別委員会を設置し、活力ある議会活動に向けた様々な調査・検討を行っている。</p>

9	3年目になるかと思うが（実際は4年目）、進行も大分慣れてきたように感じる。一方で責任を追及するような意見が長く続くことが若干ながら気にかかる。場を変えて処理しないと、時間が足りなくなる。	一人の方の発言が長時間にならないように、司会進行が発言者をきちんと指名し、より多くの方が発言できるように配慮していく。
---	---	---

(2) 町政に対するもの①（総務産業常任委員会で調査、検討）

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	町の災害負担は一般財源で7億円以上だが、どうなのか。	台風10号災害に係る財政見通しでは、地方債と一般財源等の町負担額は1,452,111千円になるが、地方交付税措置見込額を差し引いた実質の町負担額は104,150千円と見込まれている。
2	本町は交通便も悪い。JR駅の構造にも問題がある。	十勝清水駅のバリアフリー化は、JRと協議しているが、優先順位があつて十勝清水駅の予算化は難しい状況であり、方策としてコミュニティバスを御影駅まで運行している。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの停留所までが遠いので、見ていると利用していない。コミュニティバスを利用している方の意見を聞いたらいいのではないか。</li> <li>・高齢者に限らず交通弱者がいる。議員はコミュニティバスに乗ってみることにより、なぜ人が乗らないのか問題点が見えてくる、それから政策議論すべきである。特定の店をひいきしているように見えることもあり、ルートを変更すべきで、乗りたくても乗れない状況がある。</li> </ul>	議会の常任委員会において、実際にコミュニティバスに乗車して所管事務調査を行ったことがあり、その後もルート等について度々課題になっているため、議会としても高齢者の足の確保策を研究していきたい。
4	ドローンについて提案したが、現状は。	ドローンは平成29年度に防災備品として購入予定であるが、貸し出しの要望もあるため、使用方法を定めて運用するよう執行側へ伝える。
5	災害時、防災無線が聞こえなかったと聞いているが。	平成29年度に防災行政無線の更新に向けた調査が実施されている。
6	見えない地域は避難勧告を出さなかったが、かえって被害が大きいこともあり、精査してマップに反映させてほしい。	台風10号災害の被害箇所が明記された防災マップが9月に完成する予定である。
7	災害時、町内会の人々が避難しているところを、個人情報の問題で教えてもらえないが、町内会長には教えてほしい。町内会長が誰でもわかるように腕章を作ってほしい。避難所が災害にあった時は、次の避難所を決めてほしい。	避難所等の見直しが行われ、避難伝達の際に避難所が指定されることになっており、町民が安心して暮らせるように、新たに防災マップも作成される。

8	プレミアム商品券は幅広く使用できない状況にある。日常生活の生鮮食品等の購入に使用できるようにしてほしい。	生鮮食品の購入にもプレミアム商品券が使用できるようにとの要望があったことを清水町商工会へ伝える。
9	除雪は補正を組んで多額の出費をしているが、特に通学路の除雪に問題がある。子どもにやさしいまちづくりを基本に、安価でやれる方法を模索すべきである。	除雪作業は基準により行い、通学路は優先的に対応している状況であり、子どもの通学に支障がないように最大限努力している。
10	今回の災害は天災か、人災か、メンテナンスをしていないのではないか。	台風10号災害によりペケレベツ川は水位周知河川となり、浸水想定区域が示されるため、防災計画や防災マップの見直しに取り組んでいる。
11	営農用水の関係も含め、民間との連携が遅れたのではないか。	営農用水はJAと連携して進めたが、通信手段の状況で連絡が遅れたこともあり、教訓として次に生かしていかなければならない。
12	町の持ち出しが多くなっていく中、本町の総合計画は7年目を迎えるので、見直しを働きかけてほしい。財政の見直しが必要。	激甚災害の指定を受け、地方交付税措置もあって台風10号災害による総合計画の見直しは必要ないが、実施計画については、毎年見直しを行っている。
13	ペケレベツ川の氾濫は今回で3回目である。改修しているが同じ造りで、国のほうに申し入れをしてほしい。	ペケレベツ川の復旧工事は説明会も開催されているが、計画流量が変更され、河道拡幅や法線是正により、被災流量が流下できる設計になっている。
14	災害について、議会は町民を一番大事に考えてほしい。道や国へ強い意見を要望してほしい。	議会でも被害状況を調査し、平成28年10月に国へ災害対策についての意見書を提出している。
15	防災訓練を行うべきで、自衛隊をより有効に活用すべきである。	防災訓練は非常に重要なことで、今後の必要性を執行側へ伝える。
16	鳥インフルエンザによる産業廃棄物の地下水への影響は。	北海道において水質検査等が行われている。
17	国道等の塩カル散布による樹木の枯死、除草剤においても同様な被害。道路並木の白樺等の剪定の仕方が問題であるので指導すべきである。	町道の街路樹剪定については、専門業者に委託して対応している。

(3) 町政に対するもの② (厚生文教常任委員会で調査、検討)

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	<p>・運転免許証の返納を勧めるのは家族でも難しい。数年後は車が進化して、対応できる車がで きる。</p> <p>・運転免許証返納を進めるのは、かなり乱暴な 部分があるのではないかと。その後どうするの か、時代に逆行している。</p> <p>・歩けなくならないための体操等、総合的に考 える必要がある。</p> <p>・高齢になるほど歩かなくなる。運転免許証の 返納は全国の問題である。清水町に合った対応 を検討していったらいい。</p> <p>・清水町で車がなくなったらどうなるのか。車 を運転できなくなると、コンサルの話では、カ ップラーメンの世界になり、最後は栄養失調に なる。今後は総合的に健康のケアをすることが 大事になる。</p>	<p>高齢者の運転免許証返納は本人の自覚が必要で 難しい問題であるが、返納者に対するタクシー 乗車券助成等の支援が行われており、議会とし ても健康面を含めた本町にふさわしい支援の取 り組みを研究していきたい。</p>
2	<p>議会として、医療経費の削減はできるのか。広 域として考えられるか。</p>	<p>医療費の直接的な削減はできないが、予防医療 や後発医薬品の利用拡大等により抑制に努めて おり、国民健康保険については、財政基盤の安 定化などの目的で平成30年4月に市町村から 北海道の運営に広域化が図られる。</p>

## 6 アンケート集計結果

1. あなたの性別と年齢を教えてください。

性 別 男性：30人、女性：2人

年 齢 20歳代：0人、30歳代：2人、40歳代：7人、50歳代：4人、  
60歳代：9人、70歳以上：10人

2. 「議会報告会と町民との意見交換会」の開催をどのように知りましたか。

議会だより：7人、お知らせ版：7人、新聞折込みチラシ：16人、  
ホームページ：2人、その他：11人（複数回答）

3. 「議会報告」の内容はどうでしたか。

分かりやすかった：11人、どちらともいえない：17人、分かりにくかった：3人、  
無回答：1人

4. テーマを設定しての意見・提言等の聴取（意見交換）はどうでしたか。

よかった：16人、他のテーマのほうがよかった：1人、  
どちらともいえない：13人、よくなかった0人、無回答：2人

5. 意見交換しやすいように、班編成での「議会報告会と町民との意見交換会」はどうでしたか。

よかった：12人、どちらともいえない：16人、よくなかった：0人、  
無回答：4人

6. 「議会報告会と町民との意見交換会」を評価しますか。

評価する：23人、どちらともいえない：8人、評価しない：1人、無回答：0人

7. 「議会だより」を読んだことはありますか。

よく読んでいる：19人、関心のあるものだけ読んでいる：12人、  
読んでいない：1人、無回答：0人

8. 清水町議会のホームページをご覧になったことはありますか。

よく見ている：6人、時々見ている：11人、  
インターネットを利用しているが見たことはない：4人、  
インターネットを利用していないので見たことはない11人、無回答0人

9. 清水町議会の本会議や委員会を傍聴したことはありますか。

よく傍聴している：2人、時々傍聴している：17人、傍聴したことはない：13人、  
無回答：0人

10. 清水町議会議員に期待することは何ですか。

町政の監視機能：14人、具体的な政策の提言：21人、町民との対話：21人、  
議会情報の発信：7人、その他：2人（複数回答）



## 7 昨年の意見・提言等で執行側へ対応を求めた項目の検証結果

H28年 意見・提言等	H28年 調査、検討結果	H29年 検証結果
<p>・水の問題は、ともに園が使っているので問題ない。トタンが剥がれて危険というのなら、街の中でもあちこちにある。なぜ今すぐ危険だからと壊されるのか分からない。誰が解体しなければならないとの判断をしたのか。</p> <p>・以前、旧羽帯小学校校舎を使いたいという人がいた。町の施設はいきなり解体するのではなく、借りたい人がいるかどうか、公示期間を設ける必要があるのではないか。町の共有財産であり、地域や町内会の判断だけでは決められない。</p>	<p>公共施設の解体等については、地域を含めた町民への説明責任を果たし、再利用の可能性を含め、透明度を高めた処理に努めるよう執行側へ伝える。</p>	<p>旧羽帯小学校の解体後は賃貸施設の事例はないが、公共施設の解体等に際しては、十分な説明を行い、透明性のある処理に努めている状況である。</p>
<p>・過去には移動図書もあり、児童生徒に本を提供していた。立派な施設なので、利用者を増やすように努力してほしい。提案として、郡部の公民館に日割りで行き、本を身近にして利用を増やしてはどうか。</p> <p>・図書館を利用して、活用することを考えていただきたい。</p>	<p>本町の図書館は十勝管内でも上位の蔵書数であり、図書館利用の一層の拡大を目指して取り組むよう執行側へ伝える。</p>	<p>既定予算の中で内容を工夫して取り組んでおり、少子化や台風災害があつて利用は伸びていないが、引き続き図書館利用の拡大に向けて努力している。</p>
<p>・農業問題のクラスターは、清水町としてどこまでやろうとしているのか。</p> <p>・芽室町はGPSを使ったトラクター作業をやっている。農業人口が減っていく中、もっと取り組んだほうがいいのではないか。</p>	<p>畜産クラスター事業は本町でも協議会を組織して対応しているが、生産者の要望に添うように協議会で精査して進めてほしい旨、執行側へ伝える。</p>	<p>清水町地域畜産振興クラスター協議会において農業者の要望を聴取し、農業機械導入等の畜産クラスター事業に取り組んでいる。</p>

